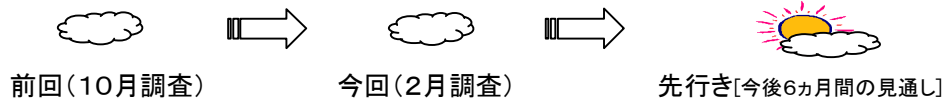




## 都 内 企 業 の 景 況 感

— 第 114 回企業動向調査結果 平成 25 年 2 月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は回復の動き、先行きも改善が続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の-3.6 から今回-0.1 へと 3.5 ポイント上昇し、回復しつつある。先行きについても、同DI*は 11.9 と大幅なプラスに転じ、改善が続く見通し。	(景気指標 DI	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	-3.6	⇒	-0.1 (前回予想 0.7)	⇒	11.9
2. 売上高DI*は、前回の-10.1 から今回-6.0 へと 4.1 ポイント上昇、経常利益DI*は、-5.4 から-9.0 へ 3.6 ポイント低下した。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	-10.1	⇒	-6.0 (前回予想-0.9)	⇒	8.5
	経常利益 DI*	-5.4	⇒	-9.0 (前回予想-0.3)	⇒	-1.5
3. 価格DIを見ると、販売価格 DI は今回-12.5 と 5.0 ポイント、仕入れ価格DIは 10.6 と 8.9 ポイント上昇した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	-17.5	⇒	-12.5	⇒	-4.2
	仕入れ価格 DI	1.7	⇒	10.6	⇒	22.5
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の 0.0 から今回 3.5 へと 3.5 ポイント、運転資金需要DI*は前回の 4.9 から今回 7.5 へと 2.6 ポイント上昇した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-6.1	⇒	-7.9	⇒	...
	設備資金需要 DI*	0.0	⇒	3.5	⇒	9.9
5. 金融機関借入難易感DIは、今回 21.0 と 3.5 ポイント上昇し緩和感が拡大、資金繰りDIは、今回 4.2 と 1.8 ポイント改善した。	運転資金需要 DI*	4.9	⇒	7.5	⇒	14.5
	金融機関借入難易感 DI	17.5	⇒	21.0	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェアを 16.8%に高めて、前回の 2 位から第 1 位となった。第 2 位は、前回 1 位の「売上不振」で 16.3%とシェアを低めた。第 3 位は前回と同じく「人材難」で 11.0%となった。第 4 位は、前回と同じく「取引先からの値引き要請」で 9.5%だった。第 5 位は、前回と同じく「原材料高・仕入れ価格高」で 9.1%だった。第 6 位は「労働力不足・求人難」で 7.5%、第 7 位は「人件費等経費の増加」で 5.9%となった。「円相場変動」は 4.7%で前回同様 8 位であった。	資金繰り DI	2.4	⇒	4.2	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.6	⇒	16.8		
	売上不振	18.6	⇒	16.3		
	人材難	11.7	⇒	11.0		
	取引先からの値引き要請	11.1	⇒	9.5		
	原材料高・仕入れ価格高	6.7	⇒	9.1		
	労働力不足・求人難	5.2	⇒	7.5		
	人件費等経費の増加	5.2	⇒	5.9		

1. DI値は、アンケート回答総数を 100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値。  
 2. 天気図は、自社業況判断、売上げ、経常利益、設備資金需要の 4 指標の平均値(前回 -4.8、今回 -2.9、先行き 7.2)で判断したもの。前回は「うす曇り」、今回は「うす曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。  
 3. 季節調整済みの指標には、\*マークを添付。原数値の指標にはマークなし。 4. 「先行き」、「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。